

小 松 基 地 ・ 空 港 対 策 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成 30 年 12 月 18 日 (火)
午後 1 時 28 分 開会
午後 1 時 52 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 浅野清利委員長, 灰田昌典副委員長, 新田寛之委員, 梅田利和委員, 片山瞬次郎委員, 二木攻委員, 川崎順次委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

調査事項

【飛行場課】

- ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について

報告事項

【飛行場課】

- ・ 平成 30 年度上半期の緊急発進実施状況について

【国際&経営政策課】

- ・ 小松・香港便の定期便化について

6. 委員長報告の要旨

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのことであります。

今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

■平成 30 年度上半期の緊急発進実施状況について

10 月 12 日に統合幕僚監部から発表された資料によりますと、平成 30 年度上半期の緊急発進回数は 561 回であり、前年度の同時期と同数とのことであります。昨年の過去最高とほぼ同水準の

状況となっております。

小松基地が所属する中部航空方面隊は30回、昨年比4回減でありました。

平成30年度上半期の特徴ですが、中国機に対する緊急発進回数は345回であり、前年度同期と比べ、58回増加し、ロシア機に対する緊急発進回数は211回であり、前年度と比べ56回減少したとのことであります。

また、推定を含め、中国機では戦闘機、ロシア機では情報収集機に対しての緊急発進が、多く実施されているとの報告を受けました。

■小松・香港便の定期便化について

来年4月に小松空港に香港との定期便が就航することとなり、香港最大手の航空会社「キャセイパシフィック航空」が平成31年3月31日から10月26日までの夏ダイヤでの小松—香港便を水、土曜日の週2往復体制で運航するとのことであります。小松空港ではソウル、上海、台北便に続く4番目の国際定期便となります。同社が今年に運航した季節チャーター便は搭乗率も高い水準で推移し、機材はチャーター便と同じ約300人乗りの大型機が使われる予定とのことであり、今後の継続的な運航のため、関係機関とより一層連携協力し、利用者の誘致促進について積極的に取り組むよう求めました。